

韓国総会 2014

昨年に引き続き今年も、福岡県父母会運営委員有志3名で、明治大学韓国定期総会に参加する為に、平成26年6月7日（土）～9日（月）の日程で韓国に行ってきました。



今年もたくさんの明治大学校友会福岡県支部の先輩方と一緒に、福岡空港から仁川国際空港に向かいました。

ソウル市内に入ると、ソウル広場と清溪川（チョンゲチョン）には、セウォル号沈没事故で安否がわからない乗客の無事を祈る黄色のリボンが、まるで花が咲いているかのように埋め尽くされていました。未だに行方不明者も残っているという事で、韓国の人々は深い悲しみに包まれていました。

韓国総会は、ロッテホテルの37階で行われました。

福岡はもとより、大分、滋賀からや、明治大学士業会の皆様、農学部の方針先生、連合父母会の丹澤顧問など、ここが韓国であることを忘れるくらい多くの方々が、日本から参加していました。

司会進行も流暢な日本語だし、総会資料もハングル文字も混ざっていますが概ね日本語で書いてあり、スムーズに受け止めました。何より美味しいお料理とお酒に酔いしれました。総会終了後も、尹泰賢（ユン テヒョン）幹事をはじめとする韓国の方々の温かいおもてなしは永遠に続き、またまた睡眠不足の夜を過ごしました。



翌日の8日（日）には、韓国支部の嚴 泰又（オム テウ）幹事長の最近引っ越しをされたという新居に皆様方とおじゃましました。以前のお宅より40坪狭いと言われる豪邸は、山の手にあり家の中からの景観も素晴らしいものでした。数々の調度品に交じって、校友会先輩からの達筆でしたためられた手紙や博多人形等、福岡県支部と27年間続いているという交流の証も大事に飾られていました。

その後、バスにて有名な北岳亭（ブガクジョン）というお店に行き、また美味しい焼肉とマッコリに舌鼓をうちました。遠慮もなしにたくさんいただいている事に恐縮していると、日本語の堪能な嚴幹事長の奥様は、「日本からわざわざ来てくださっているのだから、遠慮なんかしては駄目よ。」と優しく気遣って下さいました。

そして食事が終るとお店の外で、他のお客様が見つめる中、腕を振り振り『明治大学校歌』を熱唱しました。



9日（月）の夕方の便で福岡に戻ってきました。父母会の私たちに温かく受け入れてくださる校友会の先輩方、針谷先生や丹澤顧問、大変お世話になった韓国の方々に深く感謝して、生涯忘れることのできない思い出がまたひとつ増えました。